

二、

才

二

回

B-0048

0019

極秘

三五部ノ内第一五號

日華新關係調整條約締結交渉會議第二回正式會議記錄^(速)

日時 昭和十五年七月六日自午前十時至午前十一時四十分(日本時間)

場所 前回ト同ジ

出席者

日本側交渉委員及秘書全員出席

中國側交渉委員及秘書全員出席

日高委員

茲ニ日本側ノ作成セル前回ノ議事録ヲ朗讀スルニ付若シ双方記錄係ニ於テ照合ノ上過誤ナケレバ後列双方主席委員間ニ署名スルコトト致シ度シ(全文朗讀)

緒委員

提案同意

日高委員

委員ノ名稱ヲ交渉委員及輔佐委員ト一定致シ置キ度キガ如何

緒委員

同意ナリ

1 時ニ議事録ニ關聯シ時間ニ關シ中國時間或ハ日本時間アリ明確ニ

B-0048

シ置キタ^キニ付何レ^ニ依ルカ表示スルコト致シ度シ

日高委員

中國側ハ中國時間ヲ用ヒ日本側議事録ノ上ニ日本時間ト註釋ヲ附シ置ケバ問題ナカラシ

本日ハ御手許ニ配布シ置キタル「日本側提案要項」(別添第一號参照)及「基本條約要綱」(別添第二號参照)ニ關シ御説明致シ度シ(「日本側提案ノ説明振」全文ヲ讀ミ上ゲタリ別添第三號参照)

緒委員

只今ノ日高委員ノ御提案ニ對シテハ客年末ノ日支内約ノ交渉ニ直接關係セラレタノミナラズ日本語ヲモ能ク理解シ居ル周(佛海)委員ヨリ發言スルコトト致シ度シ

周(佛海)委員

只今ノ日高委員ノ御提案ニ關シ申上ゲ度キ第一點ハ日本側提案要項ハ客年末ノ内約ニ基キタルモノト御話ナリシガ客年ノ内約ハ極メテ複雑ニシテ之ヲ如何ナル形式ニ直スカハ大變難シキコトニ屬スルモノ之ハ重要ナル事柄ナリ。今日高委員ハ性質内容ニ依リ三個ノ文書即チ基本條約、附屬議定書及附屬秘密協定ニ分類セラレ居ル處此ノ點ハ結構トハ思フモ此御提案ノ十六項ハ研究シテ見ルコトト致度ク右十六項ガ客年末ノ内約ノ全部ヲ包括シ居ルヤ否ヤ我々ニ於テ研究ノ上若シ然ラザレバ追加スベキモノト思考ス之第一點ナリ

第二點ハ日高委員ハ提案要項ヲ三個ノ文書ニ分類セラレ恒久的ノ

事項ヲ基本條約ニ入レ臨時的ノモノヲ附屬議定書ニ又
公開ヲ俾ルモノハ附屬秘密協定ニ入ルル様ニ申サレ居ル處
我方モ研究シ果シテ如何ナル事項ヲ如何ナル文書ニ入ルベキカヲ
研究ノ上御相談致スコトトシ度シ又貴方ヨリ幸ヒ既ニ御提案アリ
シヲ以テ之ヲ基礎トシテ研究討議ヲ進メルコトトシタラ宜シカラ
ン

日高委員

只今周（佛海）委員ノ申サレタ最後ノ點ナルガ周委員ハ基本條約
要綱ハ附屬議定書其ノ他全部出揃ヒテヨリ討議致度シト申サレ居
ル様ナルモ既ニ客年内約モアルコトナレバ此ノ範圍ニ於テ基本條
約ノ討議ヲ開始シツツ要綱案ヲモ討議シ行コト何等差支ヘナシト

思考スルガ如何

周（佛海）委員

先刻ノ自分ノ話ハハツキリセザリシヤキ知レザルモ自分ハ決シテ
三種ノ案ガ全部出來上リタル上ナラデハ協議セズトノ意ニ非ズ既
ニ基本條約ノ御提案アルニ付之ヲ討議スルコトトシ只出來ルダゲ
早々他ノ二種ノ文書ヲ作成セラレ當方ノ参考ニ供セラレ度シトノ意
ナリ從ツテ貴方御提案ノ基本條約要綱ヲ先ヅ討論シテ差支ヘナシ

日高委員

御趣旨ハ好ク了解セリ我方モ出來ル丈ケ早ク殘リノ文書ヲ作成スルコトトスベシ只余リ細目ニ亙リ討議スルコトハ困難ナルヲ以テ細目ニ亙ラズ先ツ其ノ範圍ヲ定メ最モ重要ナル事項ヲ基本條約ニ盛リテ討議ニ移リ他ノモノヲ成ルベク早ク用意スルコトト致シ度シ

褚委員

結構ナリ

周（佛海）委員

此ノ機會ニ少シク述べ度キコトアリ
討議ノ順序ハ決定シタル次第ナルカ討議ノ精神ト條約ノ目的トニ

就テ述べタシ

先ツ討議ノ精神ノ問題ナルガ客年吾人ガ上海ニ於テ内約ヲ作ルトキ約二ヶ月ヲ要シタルガ其ノ間双方共同志ノ間柄ニ於テ之ヲ行ヒ同志ノ精神ヲ以テ協議ヲ進メ外交ト言フガ如キ氣持ヲ有セズ

之ヲ行ヒタリ

當時ハ勿論自分ノ立場ヲ嚴守シタルモ同時ニ相手方ノ立場ヲモ考慮シ互議ノ精神ヲ以テ討議シタルニ付圓滿ナル結果ヲ收メ得タリ依テ今回ノ討議ニ於テモ昨年ト同様ノ精神ニテ進メ度シト思考ス次ニ述べ度キハ條約ノ効用ナルガ之ニ二方面アリ一ハ條約ヲ發表スルトキノ重慶側ヘ及ボス効用ナリ重慶及其ノ管下ノ多數人民ヲシテ抗戰ノ無意義ナルコトヲ自覺セシムルコトヲ要ス

今一ツハ今次條約ハ永遠ノ平和ヲ確立セントスルモノニシテ一時ノ平和ノ爲メニ非ザルコトナリ此ノ二ツノ目的カラ考ヘテ餘リ小事ニ捉ハレザルコトヲ希望ス例ヘバ日本ハ成ルベク多クヲ得ントノ希望アランモノノ爲メニ條約ノ効用ガ阻害サレザル様希望ス先般自分ハ次ノ如キ情報ヲ入手シタルニ付披露スベシ即チ歐洲大戰ニ於テ和蘭白耳義ノ停戦ヲ見ルヤ重慶側ノ在歐大使連(郭泰祺、顧維鈞等)ハ白耳義ヤ和蘭ト同様早ク日本ト和スベシト切リニ蔣介石ニ對シ電報シ來リタリ

其ノ後佛國ノ停戦以來右大使連ハ益々平和ヲ勸告シ來リタリ當時重慶方面ニ於テハ停戦ヲ決心セントシ居リシモ佛獨休戰條約ノ成立シ其ノ條件ノ極メテ苛酷ナルヲ見ルヤ大イニ驚キ右大使連ハ遂

ニ平和ヲ唱フルヲ止メ却テ抗戰繼續ノ外方法ナシトノ意見ヲ具申シ來レリ仍テ重慶方面モ此種苛酷ナル條件ヲ以テシテハ和平ヲ實現スルコト極メテ困難ナルヲ認メ停戦ハ遂ニ實現ヲ見ザリキ之ニ鑑ミルニ重慶ハ和平ノ意思ナキニ非ザルモ只條件ノ如何アルノミ從テ今次ノ條件ハ寛大ニシ以テ速ガニ全面的和平ヲ實現センコトヲ希望ス

次ニ獨佛ノ循環的報復ノコトナリ即チ一八七〇年普佛戰爭ノ結果佛ハ獨ニ敗退シ一九一八年ニハ「ヴェルサイユ」條約ニ於テ佛ハ勝利ヲ得タルガ今回ノ戰爭ニ於テ佛ハ復敗退シタリ斯カル循環ヲ繰リ返シ居レルコトヲ見テモ條件ハ永遠ノ平和ヲ招來スルニ足ル條件ヲ考ヘラレ度シ斯カル話ハ申上クベキニ非ザルモ重要ナル點

ナルニ付同志ノ氣持ニテ會議開始ニ當リ一言申上ゲタル次第ナリ

日高委員

只今周（佛海）委員ヨリ卒直ナル御話アリタルカ自分ハ昨年ノ内
約ノ交渉ニハ參加ノ機會ヲ得ザリシモ之ニ對シテハ充分ナル同情
ト感激トヲ有セリ我々ハ兩國政府ヨリ正式ニ條約交渉ノ任ヲ與ヘ
ラレタルモノニシテ我々ハヨリ高キ氣持ニテ日支間ニ新ナル關係
ヲ建設セントスルモノナルヲ以テ形式コソ變レ精神ニ於テハ昨年
ノ話合ノトキト全ク變ルコトナキハ言フ迄モナシ

只今又周（佛海）委員ヨリ自分ノ立場ヲ守ルト共ニ相手方ノ立場
ヲ尊重セリト言ハレタルガ此ノ點モ同感ナリ若シ理想的ニ言フ
ナラバ本來日支兩國ニハ約束等ノ如キモノノ必要ナキ次第ナルガ
遺憾乍ラ現實ハ之ニ反シ居ルヲ以テ我々ハ現實ヲ直視シ今次條約

ヲ締結シ提攜ヲ計ル要アリ
即チ事變前ノ兩國人ノ考方事變後ノ兩國民ノ感情事變前後ノ兩國
ノ異ナレル現實等ヲ好ク研究認識シ現實ヲ見乍ラ討議ヲ進メ相互
ノ了解ヲ進メテ行キ度シ

尙周（佛海）委員ヨリ重慶側及其管下ノ民衆ヲシテ抗戰ノ無意義
ナルヲ知ラシムル要アリト述ベラレタルガ自分モ全然同感ナリ昨
日モ阿部大使ガ述ベラレタル如ク今次條約ハ普通ノ條約ト異リ事
變繼續中ニ結ハントスルモノニシテ此ノ點特異ナリトノ意味モ周

（佛海）委員ノ述ベラレタル點ト同意味ナリト思考ス
次ニ只今周（佛海）委員ヨリ獨佛停戰協定成立後重慶側ノ在歐大
使カ其ノ條件ヲ苛酷ナリトシテ抗戰ノ已ムナキヲ主張スルニ至レ

リト述ベラレタルガ自分ハ重慶側ノ大使ハ誤マレル觀察ヲナシ居
ルモノト思考ス獨佛ハ現在ノミヲ見テ將來ヲ見ザルモノニシテ我
々ハ將來日華兩國ノ確固タル合作ヲ希望シ將來ニ對シ大ナル希望
ヲ有スルヲ以テ重慶政權崩壞前又ハ治安確立前ニ如何ナルコトア
リトモ右ハ過度期ニ屬スルヲ以テ我々ハ將來ノ希望ヲ捨テザル次
第ナリ現在ノ大切ナル要點ハ兩國國民全部ガ日華兩國國交ノ將來
ニ希望ヲ持ツコトニシテ右ハ相互信頼ガ其ノ基礎ヲナス次第ナリ
假令紙上ニ於テ如何ナル約束ヲナストモ相互信頼ノ念ナクシテハ
何等ノ意味モナシ只如何ニシテ兩國國民ニ之ヲ持タシムルカが重
要ナル問題ナリ將來兩國關係ノ理想ニ對シ確乎タル見解ヲ持タシ
ムルト共ニ現實ヲ見乍ラ兩國國民間ニ相互ノ信頼ヲ増サシムル様

指導スルコト肝要ナリ

日華兩國間ニハ獨佛ノ如キ報復的關係ノ存在ヲ許スベカラズ過去ニ於テ日支間ニハ不幸干戈ヲ交ヘタルコトアリタリサレド復仇ノ念ガ無ク其ノ後ハ兩國有識者ノ間ニ親善關係ヲ招來スル好結果ヲ齎ラシタリ最近日華間ニハ好マシカラザル傾向アリタルモ兩國ノ識者ハ親善ノ希望ヲ捨テズ國民ニ相互信頼ノ念ヲ持タセ將來ノ希望ヲ繋ガセル様努力スルコトガ重要ナリ

以上自分ノ卒直ナル氣持ヲ述ベタル次第ナルガ只今周（佛海）委員ノ言ハレタル如ク小事ニ捉ハレザルコト肝要ナリトノ御趣旨ニハ同感ナルニ付昨年末ノ内約モアリ精神上共同ノ目標モアリ交渉委員間ニハ同シ氣持ヲ存スル次第ニ付大筋ヲ定メ成ルベク早く兩

國國交ノ正常化ヲ計リ度意向ナリ

只今自分ノ申上ゲタル最後ノ點ニ少シク附言致シ度シ

昨日阿部大使ガ申述ベタル通り今次條約締結ノ結果ハ貴國政府ノ承認トナルモノニシテ周（佛海）委員ヨリ申サレ自分ヨリ同感ヲ表シタル重慶政權ノ崩壊次イデ全面的和平ノ招來ノコトハ日華兩國關係カラハ勿論現下ノ世界情勢カラ見テモ必要ニシテ此ノ際兩國ハ相携ヘテ新ラシキ道ヲ拓キ行クコト必要ナリ

又遼都ノトキ汪院長ヨリ述ベラレタル如ク百年來ノ歐米ノ羈絆ヨリ脱却シ日華相提携シテ東亞ノ復興ヲ計ルニハ現在ハ又トナキ機會ナリ兩國ハ此ノ際大乗的見地ヨリ話ヲ進メ條約ヲ締結シ貴國政

府ヲ承認シ日華兩國相提携シテ東亞ノ復興ヲ招來スル見地ヨリ小
 節ニ拘泥スルコトナク大局ヲ計リ今四ノ話ハ早く結束ヲ付クル必
 要アリト思考ス

褚委員

今日ノ貴方御提案ハ好ク研究ノ後相談シ度シ次回ハ何時頃開クヲ
 可トスルヤ

日高委員

中國側ニ於テ御研究ノ都合モアルハキニ付七月九日（火曜日）ノ
 午後四時ニ再開シテハ如何

褚委員

火曜日午後三時（中國時間）ニテ結構ナリ

今日ハ午餐ノ用意アリ

日高委員

先刻褚委員ヨリ御話アリタル通り双方主席委員ガ交互ニ座長ノ如
 キ仕事ヲシテハ如何本日ハ自分ガ之ニ當レルガ次回ハ褚委員ニ御
 願ヒシ度シ

褚委員

同意セリ

日高委員

尙發表文ハ一應次ノ様ニ作成セルガ御賛成ヲ得レバ之ヲ發表スル
 コトト致度シ

第二回會議ハ兩國交渉委員出席七月六日午前十時開會同十一時
四十分（日本時間）閉會日本側提案要項ニ付一般的意思ノ交換
ヲ行ヒタリ

諸委員

異議ナシ

（終）